



明けましておめでとうございます



発展途上の君たちへ ～更なる飛躍の40日～



いきなりですが、3学期の登校日が何日かを数えましたか？なんと、今日を含めてたったの40日です。この数字を見て、皆さんはどう感じましたか。40日といえば…あの夏休みと同じで、あっという間に過ぎてしまうということです。個人懇談会や私立と公立の入試本番など慌ただしく過ぎてゆく日々、これまでに以上に時間の速さを感じることを思います。このように、中3の3学期は卒業までの時間経過の速さばかりがクローズアップされますが、忘れてはならないのが、義務教育最後の集大成の学期だということです。皆さんは学校生活の中で多くのことを学んできました。知識だけでなく協力、責任、思いやりなど、人としても大きく成長してきました。でも、まだまだ発展途上でもっともっと成長できます。集大成だという心の持ち方が影響するのか、それとも受験というハードルがもたらすのかは明確ではありませんが、実際のところ、この短い3学期に更にもうひと回り成長していった先輩たちをたくさん見てきました。特に顕著なのが、自分のことばかりに目を向ける生活や言動ではなく、周囲への気配りができるようになっていくことです。たぶん仲間の存在がお互いを成長させるのでしょう。

さあ、この40日をどのように自分に生かすのでしょうか。今年も皆さんが更なる飛躍を遂げて旅立っていくのを楽しみにしています。

2025年の展望 ～「自分の漢字」に誓う～



卒業までの時間=大切

その後の4月からの時間=大切

漢字一文字に自分の思い(=2025年をどのような1年にしたいのか)を込めて表現してもらいました。それぞれの頭の中には、もうすでに自分の未来像が明確にできあがっているようです。力強くたくましい思いが伝わってきます。そのうちのいくつかを紹介します。

「笑」=失敗を前向きに捉え、次につながるような人になりたい。そのためには笑顔が一番大切だと思った。失敗しても笑顔を取り戻し、悩む時間を次のための時間にしたい。

「前」=もう一回3年生をやりたいと思うぐらい楽しかった。でも、次の新しい生活や新しい出会いのためにも、後ろを振り返るのではなく前へ前へ進んでいきたい。

「勝」=負けて悔しい思いはしたくない。今までの自分よりももっと努力して合格を勝ち取りたい。どんなことでも勝利できるようにやり切ると心に決めている。

「最」=最大限勉強して受験。最高の状態で卒業。最高の仲間と遊び&別れ。そして最高の高校生活を送ることができそうな自分自身になっていきたい。

「時」=卒業までの時間を大切にしたい。また、その後に訪れる友達との時間や勉強の時間、家族や自分などのたくさんの時間を大切に過ごしたい。



「夢」=高校では今よりも多くのことを経験できて、それがどのようなことであっても自分のやりたいこと(=夢)につながっていくと思う。

「進」=4月から高校生。新しい場所や新しい出会いなど環境も変わるが、変化を恐れず常に進化し続けるカッコいい人になりたい。

その他に「挑、楽、合、新、友」などがありました。